

修学旅行を終えて

3年学年代表 山野 薫

5月14日、小雨の中の出発式で始まった3日間の旅は、九州の地を踏むと、素晴らしい天候にめぐまれ、すべての活動を無事に終えることができました。

今回は、本来計画していた形の修学旅行が3年ぶりに復活して、私たち職員だけでなく、小学校の修学旅行では広島に行くことができなかった3年の生徒たちにとって、感慨深いものであったのではないかと感じています。

生徒たちは、計画していたいずれの活動にもしっかりと取り組みました。学ぶとき、楽しむとき、それぞれの場面とその時間を大事にしている姿が印象的でした。



【1日目】

1日目、大刀洗(たちあらい)平和記念館、長崎平和公園、長崎原爆資料館での平和学習。映像や朗読、当時の形を今もとどめた展示物や資料の数々に心を動かされ、クラスで1羽ずつ作成した折り鶴とセレモニーでみんなで歌った「いのちの歌」に思いと祈りを込めました。



【2日目】

2日目、長崎市内を班別で研修しました。グラバー園や大浦天主堂、出島、中華街、少し足をのびた班は、亀山社中やペンギン水族館(ペンギンの種類の多さは世界一だそうです。)を訪れて、1日を満喫しました。路面電車に乗ったり、海の色や潮風を感じる事ができたことも新鮮な体験でした。



班別研修を終えてホテルに帰ってきた生徒たちは、『疲れた～』といいながらもその表情は笑顔であふれていました。もちろんホテルの食事もおいしくて、食後のレクリエーションは大いに盛り上がりました。



【3日目】

最終日、太宰府天満宮で合格祈願をし、参道の土産物屋で楽しい時間を過ごし、名残おいしい気持ちをかかえながら博多駅から新幹線で帰途に着きました。

学年のなかまとともに寝食をともにし、校外で活動した経験は、かけがえのない思い出であるとともに、生徒たちのこれからの糧になっていくことを願います。

最後になりましたが、今回の修学旅行を支えていただいたすべての方々に感謝申し上げます。

